



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山崎 統司 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,866	△35.3	△1,760	—	△1,897	—	△6,436	—
2020年3月期第3四半期	19,881	△15.8	22	△98.8	△47	—	△283	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △6,531百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △812百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△217.02	—
2020年3月期第3四半期	△9.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	33,422	23,519	70.4	792.97
2020年3月期	37,090	30,303	81.7	1,021.68

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,519百万円 2020年3月期 30,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△36.8	△2,700	—	△3,300	—	△7,900	—	△267.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8 ページ「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	29,662,851株	2020年3月期	29,662,851株
2021年3月期3Q	2,573株	2020年3月期	2,438株
2021年3月期3Q	29,660,363株	2020年3月期3Q	29,652,151株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、当社グループを取り巻く市場環境は、国内外で投資抑制傾向が継続するなど、厳しい状況が続きました。

北米ゲーミング市場のカジノホールにおいては営業再開後も入場者数の制限等の規制がされており、また欧州ゲーミング市場でも各国における度重なるロックダウン等の影響で、いずれの市場においても依然として客足が戻らない状況にあることに加えて、コロナ禍に好転の兆しが見えない状態が続いていることから、設備投資の抑制傾向が続いております。

国内の遊技場向機器市場も同様に新型コロナウイルスの感染拡大による影響以外に、旧規則の遊技機の撤去等の業界としての課題を抱えていることもあり、営業活動は厳しいものとなりました。また、国内外のコマーシャル市場でも、経済活動が停滞状態となるなかで、投資意欲に持ち直しの動きは見られず、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況により、当第3四半期連結累計期間における売上高は、12,866百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。利益面では、営業損失は1,760百万円（前年同四半期は22百万円の利益）、円高の進行による為替差損の計上により、経常損失は1,897百万円（前年同四半期は47百万円の損失）となりました。さらに、本社における固定資産と欧米子会社の無形固定資産等の減損損失5,637百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,436百万円（前年同四半期は283百万円の損失）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル107.25円（前年同累計期間は109.22円）、ユーロは121.10円（前年同累計期間は122.39円）で推移いたしました。また、当第3四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル103.51円（前連結会計年度末は108.83円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各国政府による拡散防止措置により、カジノホール等の営業時間の短縮や休業を余儀なくされた影響から、機器入替などの需要が大幅に減少したことなどにより、当セグメントの売上高は6,019百万円（前年同四半期比44.7%減）、セグメント損失は382百万円（前年同四半期は1,557百万円の利益）となりました。

②海外コマーシャル

欧米地域における紙幣還流ユニットの販売は減少いたしました。アジア地域において中国、シンガポール及び台湾で鉄道券売機向けに新製品の紙幣還流ユニットの販売が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は2,144百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。しかし、利益面では研究開発費の支出等により、セグメント損失は713百万円（前年同四半期は592百万円の損失）となりました。

③国内コマーシャル

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、設備投資の抑制やOEM向けの納期延伸等もあり、紙幣識別機ユニットなどの主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は1,241百万円（前年同四半期比42.7%減）となりましたが、セグメント利益101百万円（前年同四半期比72.4%減）を計上いたしました。

④遊技場向機器

主な販売先であるパチンコホールは緊急事態宣言時には営業活動を自粛し、解除後も遊技客の回復に時間を要していることや、過度の射幸性を抑えた遊技機の導入に加えて、感染予防対策に投資を優先させていることもあり、メダル自動補給システムなどを中心とした主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は3,461百万円（前年同四半期比28.1%減）、セグメント損失は641百万円（前年同四半期は69百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,668百万円減少し、33,422百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,733百万円増加し、27,557百万円となりました。「現金及び預金」が2,421百万円、「商品及び製品」が537百万円、「原材料及び貯蔵品」が253百万円それぞれ増加した一方で、「受取手形及び売掛金」が1,473百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,401百万円減少し、5,864百万円となりました。減損処理を行ったこと等により有形固定資産が1,845百万円、「のれん」等の無形固定資産が4,398百万円それぞれ減少した一方、「のれん」等の減損処理に伴う繰延税金資産の計上等により投資その他の資産が842百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,115百万円増加し、9,902百万円となりました。「短期借入金」が4,300百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が699百万円、「賞与引当金」が291百万円それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6,783百万円減少し、23,519百万円となりました。配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が6,689百万円減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失の計上、たな卸資産の増加等による資金の減少及び配当の支払い等があった一方、短期借入による収入や売上債権の減少等による資金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、2,421百万円増加し、11,725百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,541百万円（前年同四半期は358百万円の支出）となりました。これは主に減損損失5,637百万円、売上債権の減少額1,345百万円等の資金の増加を計上した一方で、税金等調整前四半期純損失7,217百万円、たな卸資産の増加額968百万円等の資金の減少を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は26百万円（前年同四半期は439百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出308百万円があった一方、有形固定資産の売却による収入347百万円等を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は4,001百万円（前年同四半期は616百万円の支出）となりました。これは主に短期借入れによる収入4,300百万円があった一方、配当金の支払額252百万円等を計上したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額64百万円の資金の減少がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合理的な算定が困難であることから、未定としていた2021年3月期通期連結業績予想値につきましては、詳細は本日別途開示しております「特別損失（減損損失）、法人税等調整額（益）及び営業外費用（割増退職金）の計上並びに業績予想修正、配当予想（無配）に関するお知らせ」に記載しておりますので、ご参照ください。

なお、今後、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,323,984	11,745,644
受取手形及び売掛金	5,315,130	3,841,966
電子記録債権	74,796	126,985
有価証券	89,490	53,851
商品及び製品	6,110,268	6,648,154
仕掛品	484,180	470,820
原材料及び貯蔵品	3,859,915	4,113,038
その他	722,956	717,161
貸倒引当金	△156,560	△160,113
流動資産合計	25,824,162	27,557,508
固定資産		
有形固定資産	4,950,554	3,104,855
無形固定資産		
のれん	1,609,925	—
技術資産	131,928	—
顧客関連資産	2,365,489	—
その他	318,786	27,203
無形固定資産合計	4,426,129	27,203
投資その他の資産		
その他	1,948,780	2,791,600
貸倒引当金	△58,989	△58,989
投資その他の資産合計	1,889,791	2,732,610
固定資産合計	11,266,474	5,864,669
資産合計	37,090,637	33,422,178
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,094,724	2,394,832
短期借入金	—	4,300,000
未払法人税等	591,512	599,631
賞与引当金	291,682	—
事業構造改善引当金	342,843	287,456
その他	1,821,578	1,740,918
流動負債合計	6,142,340	9,322,839
固定負債		
その他	644,919	579,670
固定負債合計	644,919	579,670
負債合計	6,787,259	9,902,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,762,525	2,762,525
利益剰余金	25,984,844	19,295,799
自己株式	△2,217	△2,294
株主資本合計	30,962,097	24,272,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,561	258,964
為替換算調整勘定	△793,281	△1,012,270
その他の包括利益累計額合計	△658,720	△753,306
純資産合計	30,303,377	23,519,669
負債純資産合計	37,090,637	33,422,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	19,881,582	12,866,037
売上原価	12,171,039	8,564,021
売上総利益	7,710,543	4,302,016
割賦販売未実現利益戻入額	19,968	9,026
割賦販売未実現利益繰入額	33,972	—
差引売上総利益	7,696,539	4,311,042
販売費及び一般管理費	7,674,095	6,071,687
営業利益又は営業損失(△)	22,443	△1,760,644
営業外収益		
受取利息	4,724	5,412
受取配当金	22,050	28,213
その他	28,000	30,672
営業外収益合計	54,776	64,298
営業外費用		
支払利息	3,482	4,310
為替差損	109,728	180,445
その他	11,526	16,405
営業外費用合計	124,737	201,161
経常損失(△)	△47,517	△1,897,508
特別利益		
固定資産売却益	—	326,043
特別利益合計	—	326,043
特別損失		
固定資産除却損	7,891	2,082
固定資産売却損	—	53
投資有価証券評価損	24,254	7,233
減損損失	—	5,637,055
特別損失合計	32,145	5,646,425
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,663	△7,217,889
法人税、住民税及び事業税	215,450	△1,634
法人税等調整額	△11,995	△779,324
法人税等合計	203,455	△780,958
四半期純損失(△)	△283,119	△6,436,930
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△283,119	△6,436,930

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△283,119	△6,436,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,145	124,402
為替換算調整勘定	△555,133	△218,989
その他の包括利益合計	△528,988	△94,586
四半期包括利益	△812,107	△6,531,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△812,107	△6,531,517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△79,663	△7,217,889
減価償却費	750,791	697,750
のれん償却額	138,500	136,037
引当金の増減額(△は減少)	△245,549	△340,519
受取利息及び受取配当金	△26,775	△33,625
支払利息	3,482	4,310
為替差損益(△は益)	74,190	155,354
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,891	△323,907
減損損失	—	5,637,055
投資有価証券評価損益(△は益)	24,254	7,233
売上債権の増減額(△は増加)	117,997	1,345,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△948,712	△968,878
仕入債務の増減額(△は減少)	484,841	△635,297
未収消費税等の増減額(△は増加)	△165,841	57,995
その他	△302,265	△34,490
小計	△166,857	△1,513,130
利息及び配当金の受取額	26,275	33,109
利息の支払額	△3,482	△3,710
訴訟関連損失の支払額	—	△9,704
法人税等の支払額	△214,563	△48,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	△358,627	△1,541,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△706	33,004
有形固定資産の取得による支出	△403,508	△308,311
有形固定資産の売却による収入	—	347,594
無形固定資産の取得による支出	△33,314	△43,965
投資有価証券の取得による支出	△1,674	△1,404
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439,213	26,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	4,300,000
配当金の支払額	△592,669	△252,052
リース債務の返済による支出	△44,600	△46,335
自己株式の取得による支出	△370	△76
自己株式の売却による収入	20,761	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,878	4,001,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	△185,681	△64,919
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,600,400	2,421,660
現金及び現金同等物の期首残高	11,348,448	9,303,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,748,048	11,725,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」に表示していた5,389,927千円は、「受取手形及び売掛金」5,315,130千円、「電子記録債権」74,796千円として組替えております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。当第3四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を踏まえ、翌連結会計年度以降の一定期間にわたり継続するものと仮定を置きなおし、当該会計上の見積りを行っております。その結果、当第3四半期累計期間において、固定資産の一部について減損損失5,637,055千円を計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには極めて高い不確実性を伴うため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に更なる影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,879,547	2,024,534	2,166,289	4,811,210	19,881,582	—	19,881,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,879,547	2,024,534	2,166,289	4,811,210	19,881,582	—	19,881,582
セグメント利益又 は損失(△)	1,557,228	△592,317	367,963	△69,909	1,262,965	△1,240,521	22,443

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,019,292	2,144,443	1,241,130	3,461,171	12,866,037	—	12,866,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,019,292	2,144,443	1,241,130	3,461,171	12,866,037	—	12,866,037
セグメント利益又 は損失(△)	△382,467	△713,594	101,486	△641,778	△1,636,353	△124,291	△1,760,644

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「グローバルゲーミング」セグメント、「海外コマーシャル」セグメント、「国内コマーシャル」セグメント、「遊技場向機器」セグメント及び「調整額」において、固定資産の減損を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「グローバルゲーミング」セグメントに4,009,514千円、「海外コマーシャル」セグメントに682,399千円、「国内コマーシャル」セグメントに151,030千円、「遊技場向機器」セグメントに361,222千円及びセグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失は「調整額」に432,887千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

旧フューチャーロジック社ののれんについて、当初想定された収益が見込めなくなったことから、未償却残高の全額について減損損失を認識するに至りました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「グローバルゲーミング」セグメントに1,409,597千円、「海外コマーシャル」セグメントに26,354千円であります。